

インターバンクの声（2015年11月12日）

米国がベテランズ・デーのために債券市場と為替市場が休場とあって、開いていた株式市場も薄商いとなり、市場は米連邦準備制度理事会（FRB）の理事や地区連銀総裁の講演会や討論会が複数予定されている木曜日まで方向感が出難い状態が続きそうだ。為替市場は休場とは言っても金融機関の為替部門の担当者全員が休みではなく、しかも決済可能な応当日にもなっていることから、オペレーション部門の担当者を中心に出勤の人も少なくない。しかも株式市場が開いているため、万が一に備えてという部分や電子取引を通せばいつでも取引が可能なため、株式市場も休場になる休日と違って多少、為替相場も動くのだ。開いていた株式市場では、小売銘柄が売られていたので年末商戦を不安視する声も上がっていたようだ。もっとも、オンライン小売のアマゾン・ドット・コムは、10月の売上げが大幅増加していたようで、米国でも買い物はネット経由が中心になっているのか、先進国は何処も同じ傾向になって来ているのかも知れない。どの主要通貨を見ても、今日、明日に大きく方向感が変化しそうには見えないが、余りにもベアな相場観が多く聞かれるユーロの反発には注意しておきたい。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。